



## 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月21日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社 (コード番号：7991 東証第 2部)  
 (URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>)  
 問合せ先 代表者役職名 代表取締役社長 氏名 松井 嘉正  
 責任者役職名 常務取締役管理本部長 氏名 志田 太利夫 (TEL:(048 858 4880))

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 影響額が僅少な項目につき一部簡便な方法を採用  
 しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	16,489	56.6	923	228.4	760	-	443	-
16年3月期第3四半期	10,527	19.1	281	74.4	56	93.9	186	-
(参考)16年3月期	13,958		305		39		323	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	11.40	-
16年3月期第3四半期	4.80	-
(参考)16年3月期	8.32	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期におけるわが国経済は、世界経済の堅調さと国内の大企業を中心とした業績の回復及び設備投資の増加など、全体に回復基調にありましたが、下期に入り相次ぐ台風の上陸、天候不順の影響などを受け、個人消費の回復の伸びが鈍化するなど厳しい経済環境にありました。

このような状況下、当第3四半期の売上高は164億89百万円（前年同期比56.6%増）、経常利益7億60百万円（前年同期は56百万円の利益）、当第3四半期純利益4億43百万円（前年同期は1億86百万円の純損失）となりました。

次に部門別に報告致します。

電子機器事業部門では、新ICカードユニットの好調を受け、また、新紙幣に対応した改札機種が受注増となり、売上高は125億37百万円（前年同期比89.6%増）となりました。

光学機器事業部門では、デジタルカメラの浸透により銀塩カメラ市場は以前にも増して厳しい状況が続いており、また、当社のデジタルカメラの発売が発表から1～2ヶ月ほどずれ込んでいるなど、業績に影響を及ぼし、売上高は16億79百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

スポーツ事業部門では、海外・国内ともゴルフ市場の低迷が長引く中、国内では昨年3月から発売いたしました4軸シャフト「AXIV」が健闘しましたが、夏場の猛暑・台風などの影響を受け、売上高は20億66百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

特機事業部門では、既存製品の遮断桿等は順調に推移しましたが、表面欠陥検査装置・薄膜測定機器等は業界に徐々に浸透してきましたが、最終的な受注には至らず厳しい状況にあります。この結果、売上高は2億6百万円（同年前期比32.7%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産 百万円	株主資本 百万円	株主資本比率 %	1株当たり 株主資本 円 銭
17年3月期第3四半期	30,726	2,878	9.4	74.10
16年3月期第3四半期	25,166	2,622	10.4	67.47
(参考)16年3月期	24,381	2,533	10.4	65.20

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
17年3月期第3四半期	1,071	40	651	3,886
16年3月期第3四半期	1,711	141	1,528	3,131
(参考)16年3月期	1,215	57	1,534	3,413

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は10億71百万円（前年同期は17億11百万円の使用）となりました。

これは主に電子機器事業の新ICカードユニット、新紙幣対応の改刷機種の生産販売増に伴う売上債権の増加53億29百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益4億71百万円、仕入債務の増加63億72百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は40百万円（前年同期に比べ1億1百万円の減少）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出1億15百万円、有形固定資産売却による収入1億16百万円、定期預金の解約による収入（純額）54百万円等によるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は6億51百万円（前年同期に比べ8億77百万円の減少）となりました。

これは主に借入金の返済（純額）6億49百万円によるものであります。

これらの結果、現金および現金同等物の当第3四半期末残高は、期首残高から4億73百万円増加し、38億86百万円となりました。

以上

[ 参 考 ]

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

電子機器事業部門は大幅な売上増加となっておりますが、光学機器事業部門のデジタルカメラの発売が遅れておりますので、当第3四半期末におきましては、平成16年11月12日に開示しました予想を変更いたしません。

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	4,031	3,230	801		3,613
受取手形及び売掛金	7,989	3,721	4,268		2,643
たな卸資産	6,407	6,004	403		5,772
その他	92	86	6		129
流動資産合計	18,521	13,042	5,479	42.0	12,159
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	9,505	9,507	2		9,465
無形固定資産	60	22	38		35
投資その他の資産	2,639	2,593	46		2,720
固定資産合計	12,205	12,123	82	0.7	12,221
資産合計	30,726	25,166	5,560	22.1	24,381
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	9,526	3,580	5,946		2,928
短期借入金	4,799	5,401	602		5,404
未払法人税等	17	17	-		54
その他	375	519	144		295
流動負債合計	14,720	9,519	5,201	54.6	8,682
<b>固定負債</b>					
長期借入金	11,317	11,379	62		11,364
退職給付引当金	1,570	1,477	93		1,520
その他	240	167	73		280
固定負債合計	13,128	13,025	103	0.8	13,165
負債合計	27,848	22,544	5,304	23.5	21,847
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	-
<b>(資本の部)</b>					
資本金	2,958	2,958	-		2,958
利益剰余金	3	309	306		446
その他有価証券					
評価差額金	236	212	24		281
為替換算調整勘定	298	228	70		248
自己株式	15	11	4		11
資本合計	2,878	2,622	256	9.8	2,533
負債、少数株主持分 及び資本合計	30,726	25,166	5,560	22.1	24,381

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	16,489	10,527	5,962	56.6	13,958
売上原価	12,733	7,668	5,065	66.1	10,234
売上総利益	3,756	2,858	898	31.4	3,724
販売費及び 一般管理費	2,833	2,577	256	9.9	3,418
営業利益	923	281	642	228.5	305
営業外収益	89	122	33	27.0	163
受取利息及び 配当金	6	5	1		6
その他	82	116	34		156
営業外費用	252	346	94	27.2	429
支払利息	199	202	3		270
その他	52	143	91		159
経常利益	760	56	704	1,257.1	39
特別利益	14	19	5	26.3	40
特別損失	302	244	58	23.8	356
固定資産売却 却損	71	83	12		87
その他	231	161	70		269
税金等調整前四 半期(当期)純 利益又は純損失 ( )	471	168	639	-	276
税金費用	28	18	10	55.6	47
四半期(当期) 純利益又は純損 失( )	443	186	629	-	323

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 16 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失( )	471	168	276
減価償却費	152	179	235
売上債権の増減額(増加: )	5,329	673	368
たな卸資産の増減額(増加: )	595	123	304
仕入債務の増減額(減少: )	6,347	1,157	1,782
その他	273	244	252
小 計	1,319	1,451	897
利息及び配当金の受領額	11	8	9
利息の支払額	193	197	268
法人税等の支払額	66	70	59
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,071	1,711	1,215
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の売却による収入	116	191	186
有形固定資産の取得による支出	115	41	62
定期積金の預入による支出	304	34	135
定期積金の解約による収入	358	68	68
その他	15	43	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	141	57
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期(短期)借入による収入	1,364	1,745	1,896
長期(短期)借入金の返済による支出	2,013	3,272	3,427
その他	3	2	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	651	1,528	1,534
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	12	46	55
<b>現金及び現金同等物の増減額 (減少: )</b>	473	3,145	2,863
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	3,413	6,277	6,277
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	3,886	3,131	3,413

#### 4. セグメント情報

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	電子機器 事業	光学機器 事業	スポーツ 事業	特機 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	12,537	1,679	2,066	206	16,489	-	16,489
営業費用	10,934	2,337	1,965	328	15,566	-	15,566
営業利益又は 営業損失( )	1,602	658	100	121	923	-	923

##### 〔所在地別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又 は全社	連結
売上高	14,786	1,144	1,281	17,213	(723)	16,489
営業費用	14,018	1,092	1,231	16,342	(776)	15,566
営業利益	768	52	49	871	52	923

##### [参考]

第3四半期個別経営成績等の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

	売上高	営業利益	経営利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	14,574	1,041	839	623
16年3月期第3四半期	9,452	264	191	91
(参考)16年3月期	12,520	284	299	270

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	29,029	2,513
16年3月期第3四半期	23,606	2,240
(参考)16年3月期	22,878	1,945